

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業		所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課 ワクチン接種対策室	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	ワクチン接種対策G		
	施策名	〈20〉健康づくりの推進		課長名	野々村 達志		
	目的対象	市民	意図	担当者名	村松 優		
	基本事業	〈058〉病気の早期発見と重症化予防・感染症の予防		電話番号	0854-40-1043 (内線) 2174		
目的対象	市民	意図	病気を早期に発見し、重症化を予防する。感染症を予防する。	会計	款	大事業名	保健予防事業
				大項目	0:1:2:0	中事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
				中項目	0:5:2:0	中事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
				小項目	0:7	中事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	希望される対象者へ新型コロナウイルスワクチン接種ができるよう体制が構築される。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度)	国からは、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施するにあたり、主導的役割を果たす国、実施主体としての市町村、広域的な視点で市町村を支援する都道府県といった役割分担を基本として、接種体制・流通体制を速やかに整備することとしている。接種体制構築に係る費用については国が負担する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 計画策定、予算管理、広報、特設会場設置、コールセンター設置、小分けワクチン配送、接種券印刷・発送、ワクチン接種便(送迎)、接種運営(医療従事者、高齢者施設入所者、集団接種、個別接種、初回接種(フォローアップ)、小児接種(5-11歳))	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 初回接種(1・2回目): 令和2年9月提示、令和3年2月17日から令和4年2月28日までの実施。 追加接種(3回目): 令和3年9月提示、令和3年12月1日から令和4年9月30日までの実施。 小児接種: 令和3年11月提示、令和4年3月1日から令和4年9月30日までの実施。この方針に対応するため、体制を構築・確保してきた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 接種率累計(初回接種)	%		-	91.6	92.0
イ 接種率累計(追加接種)	%		-	63.9	90.0
ウ 接種率累計(小児接種)	%		-	17.3	80.0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
報酬 9,150千円	職員手当等 1,051千円	財源内訳	国庫支出金	千円		5,626	128,278	84,032
報償費 82千円	旅費 241千円		県支出金	千円				
需用費 6,585千円	役員費 18,127千円		地方債	千円				
委託料 52,114千円	使用料及び賃借料 34,651千円		その他	千円				
工事請負費 3,806千円	備品購入費 2,471千円		一般財源	千円				
【財源】新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金			事業費計	千円	0	5,626	128,278	84,032

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	初回接種: 希望される方への接種については、令和3年中に概ね完了した。 追加接種: 令和3年12月より、接種間隔が到来した方より順次開始した。(継続中) 小児接種: 令和4年3月より開始した。(継続中)
② 事業実施するうえでの課題	国からのワクチンの安定的な供給及び中長期的な供給スケジュール提示。 ワクチン供給スケジュール提示が直近且つ供給量が不安定であるため、接種計画見直しが都度迫られた。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国へのワクチンの安定的な供給及び中長期的な供給スケジュール提示。